

# 多くの仕事に挑戦しよう



発行所  
北海道新聞社  
郵便番号 060-8711  
札幌市中央区大通西3-6  
電話 011(221)2111  
©北海道新聞社 2016



インターネットで道新ニュース  
dd.hokkaido-np.co.jp  
ご購入申し込みは  
0120-464-104

## ケーキ作りや消防体験

### 働く車19台勢ぞろい



高所作業車で体験をする子ども

子どもたちにさまざまな職業への関心を高めてもらうイベント「こども祭り2016 in いけだ」が26日、池田町田園ホールで始まりました。会場には大型コンバインや除雪車、工事用ブルドーザー、道新ぶんぶん号など、普段はあまり触れることができない働く車19台が展示され、大勢の家族連れなどにぎわっています。



警察職員に指紋の採取を教わる子どもたち

子どもたちはさまざまな職業への関心を高めてもらうイベント「こども祭り2016 in いけだ」が26日、池田町田園ホールで始まりました。会場には大型コンバインや除雪車、工事用ブルドーザー、道新ぶんぶん号など、普段はあまり触れることができない働く車19台が展示され、大勢の家族連れなどにぎわっています。

池田町観光協会を中心にした実行委員会が開催し、4年ぶり4回目となります。祭りの楽しみ方は大きく分けて職業体験、アトラクション、働く車の展示・試乗の3つです。

北海道新聞・道新スポーツ・日本経済新聞  
北海道新聞池田販売所  
池田町東2条7番18 ☎015-579-2805

◇子ども号外を発行 北海道新聞帯広支社は、取材やカメラ撮影の体験コーナーを出展。訪れた小学生に記者とカメラマンになってもらい、ほかの児童の仕事体験の様子などを取材してもらい、ぶんぶん号で号外として印刷し、参加者や来場者に配りました。





**小麦用コンバイン** ドイツ・クラス社製の大型コンバイン。排気量8800cc、313馬力の大型エンジンを搭載し、幅5メートルほどのカッターで小麦を一気に刈り取って、そのまま脱穀する。十勝は小麦の有数の産地で、米国製など外国製の大型農機が多く活躍している。

**万能作業車** メルセデス・ベンツの多目的車「ウニモグ」をベースにした作業車。回転するブラシを3基備え、トンネルの壁や高さ4メートルの天井の照明を走行しながら掃除できる。乗用車やトラックの排ガスなどで黒く汚れるため、高速道路では年に2回ほど清掃し、トンネルを明るく安全に通れるようにしている。この車、部品を取り換えると走行しながら樹木の剪定(せんてい)ができたり、路肩の雪を飛ばすロータリー除雪車に変身したりする。



高所作業車 送電線など高いところに張られた電線の工事で使う車だ。最高で15メートルの高さに持ち上げられるバケットは絶縁性がある素材でできおり、2人乗り。会場では乗車体験もできる。



# 働く車試乗しよう



**高規格救急車** 別名「走る救急救命室」と呼ばれる。池田消防署が昨年2月に導入したばかりの新型車は人工呼吸器や自動心臓マッサージ器などを備え、救急救命士が乗り込んで急病人や心肺停止状態の負傷者を救命処置しながら病院に運べる。天井を上げて185センチの室内高を確保し、作業性に優れる。



**郵便車両** 配達で使われる、おなじみの赤色の郵便車とバイクだ。小回りが利くバイクは2011年から新型車の導入が始まった。旧型より大きな110cc、8馬力のエンジンに代わり、前後のカバンと収納ボックスで計40キロ程度の荷物を搭載できる。雪が降る冬もスタッドレスタイヤとチェーンを装着して走るが、運転テクニックがないと走れない。



**高速道路用除雪車** 前方に長さ29メートルの除雪用プラウ(板)を、車体中央に整地用のグレーダーを備えた大型除雪車。時速30~40キロで作業でき、高速道路ではおおむね積雪5センチになると3台一組で出動する。

**ぶんぶん号** 北海道新聞社が道内各地のイベント会場やニュース現場でミニ新聞を作るために出動させるマイクロバス。車内にパソコンや印刷機を備えており、A3判カラー画面を1時間に2400枚印刷するスピードが誇る。

